



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～



令和元年10月28日(月)発行 No.28 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記

作物も学習成果も“実りの秋”です ～農業科を通した学び～

農業科のねらいは、子ども達に「豊かな心」「主体性」「社会性」の3つを育成し、身に付けることです。

3年生はカボチャ、4年生はサツマイモ、5年生は米を栽培し、それぞれが、農業科支援員様のご指導をいただきながら収穫を終えました。収穫の喜びを味わった子ども達は、次は、収穫した作物を使って料理したり、その料理を支援委員の皆さまと食したりしながら、「豊かな心」「主体性」「社会性」を学び身に付けていきます。



農業科支援員さんのご指導をいただき、稲刈りをしました。



3年生が、畑に行ってみると…あっちにも、こっちにも、カボチャがわんさか！取りに取ったり、44個！土深く挟まっているマルチも、シャベルで掘り出し片付けました。収穫も作業もがんばった3年生！実りの秋です！

4年生が、わさわさと生い茂った茎をかきわけ、いざ収穫。出てくる出てくるお芋さん。たーくさんのサツマイモと、た～くさんの子ども達の笑顔に包まれた時間となりました。実りの秋です！

農業支援員2名の方から、稲刈りの説明を受け、いざ稲刈りです。鎌の切れ味鋭く、「ザクッ」と刈れて気持ちよかったです！とのことでした。刈り取った稲を、力を合わせてコンバインまで運びました。「すごいよね、全校生分の給食いけちゃうよね」「そうそう、だってひとつの稲に、こんなにたくさんのお米がついてるんだもんなあ」子ども達の会話です。まさに「一粒万倍」と「自然の不思議」を感じた時間だったようです。

先生方の学びも深まる秋！！

17日(木)は、耶麻地区の先生方の研究会(生活科・総合部会、算数科部会)が本校で行われました。生活科では戸田先生が、算数科では五ノ井先生が、部会を代表して授業を行いました。たくさんの先生方が参観されましたが、子ども達は話をよく聴き、考え、発表したり話し合ったりすることで学びを深めました！

研究会を通して、先生方の学びも深まっています！



外国語の授業 ～新しい教科～

小学校では、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する外国語科が次年度より本格スタートします。

担任とALTのチームティーチングで、授業を進めています。



6年担任とALTとの授業の様子 ↑
算数科(上)と生活科(下)の授業の様子